

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

助成事業名	内訳	2019年度 (令和元年度) 助成金 (実績)		2019年度 (令和元年度) 助成金 (計画)
I. プロ・ナトゥーラ・ファンド助成	国内研究助成	11件	10,470.0	23,500.0
	国内活動助成	5件	3,460.0	
	〃 (地域NPO)	3件	2,830.0	
	海外助成	2件	2,800.0	
	特定テーマ(第30期)	3件	1,480.0	
	特定テーマ(第29期)	3件	3,000.0	
	小計	27件	24,040.0	23,500.0
II. ナショナル・トラスト活動助成		3件	4,800.0	5,000.0
III. 緊急助成		1件	274.0	1,000.0
IV. 協力型助成	国際NGO助成	0件	0.0	3,500.0
	学協会助成	2件	1,934.9	
	国際的プログラム助成	2件	1,563.0	
	小計	4件	3,497.9	3,500.0
	合計	35件	32,611.9	33,000.0

## 2. 助成金交付一覧

### I. 2019年度(令和元年度) 第30期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成先一覧

#### 【国内研究助成】

(単位：千円)

No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	世界自然遺産候補地奄美群島の森林生態系に関する基礎的研究	鹿児島大学薩南諸島森林生態研究グループ	川西 基博	1,000.0
2	シカ捕獲用くくり罠による錯誤捕獲がカモシカに与える影響	浅間山カモシカ研究会	南 正人	870.0
3	特定外来生物ヌートリアによる貝捕食の実態および発生メカニズムの解明	ヌートリア食性研究グループ	石塚 譲	1,000.0
4	九州北部におけるハヤトゲフシアリを含む外来アリ類の侵入状況解明と在来生物群集に及ぼす影響評価(2年間)	九州北部外来アリ研究グループ	細石 真吾	750.0
5	有明海全域における底生動物群集の継続調査と将来的な常時開門実施に向けた解析準備	有明海保全生態学研究グループ(略称:有明海研究グループ)	森下 浩史	850.0
6	南大東島の洞窟地下水域に生息するダイトウコオイエビの生息状況と生態に関する研究	ダイトウコオイエビ保全研究グループ	藤田 喜久	1,000.0
7	絶滅の危機に瀕したリュウキュウアユをカワウの食害から回避させる手法の確立	奄美リュウキュウアユ蘇生プロジェクト	井口 恵一朗	1,000.0
8	GPSデータロガーを用いたカンムリワシの生息域および環境利用特性の解明(2年間)	八重山諸島カンムリワシ生態研究グループ	河野 裕美	1,000.0
9	釧路湿原周辺地域における在来種クロテンと外来種ミンクの生息実態の解明	乾燥地野生生物保全研究会	杉本 太郎	1,000.0
10	セミ鳴音に基づく種識別プログラムの開発および携帯端末を活用した絶滅危惧種の発生モニタリング(2年間)	イシガキニイニイ保全研究チーム	立田 晴記	1,000.0
11	ロガー情報と音響情報を用いたオガサワラオオコウモリの生態調査手法の開発	島コウモリ調査グループ(Island Bat Research Group)	橋爪 雅人	1,000.0
国内研究助成 11件			計	10,470.0

#### 【国内活動助成】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	伊豆諸島の植物の生態・進化・保全に関する普及パンフレットの作成	伊豆諸島植生研究グループ	上條 隆志	360.0
2	ニホンカモシカの保全に向けた錯誤捕獲対応マニュアルの作成	岐阜県ニホンカモシカ研究会	池田 敬	1,000.0
3	気仙沼・舞根湾の湿地再生調査プログラム	認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン	浦辺 徹郎	700.0
4	「京と森の学び舎」実施による近畿の若者世代を中心とした森里海アクションの推進	若者世代と自然をつなぐ会	赤石 大輔	700.0
5	希少水生昆虫類が生息する湿地の保全維持活動と外来種の駆除	水田の保全生態学グループ	大庭 伸也	700.0
国内活動助成 5件			計	3,460.0

【国内活動助成（地域NPO活動枠）】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	ラムサール条約湿地 中池見湿地 ウシガエル入れない！プロジェクト	中池見ねっと	上野山 雅子	970.0
2	八郎湖の湖内生態系復元のために流域各地に在来沈水植物の再生拠点を整備する	特定非営利活動法人 はちろうプロジェクト	石川 紀行	1,000.0
3	雲仙天草国立公園・田代原草原における地域住民を巻き込んだミヤマキリシマ保全活動	特定非営利活動法人 奥雲仙の自然を守る会	木下 美津子	860.0
国内活動助成（地域NPO活動枠） 3件			計	2,830.0

【海外助成】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	Ecological status of primates in Semliki National Park Uganda	Wildlife Clubs of Uganda	Chris Bakuneeta	1,300.0
2	A history revisited - a vital first step of <i>Elaeocarpus</i> species conservation	South Pacific Regional Herbarium (SUVA) & Auckland Museum Herbarium (AK)	Marika Tuiwawa	1,500.0
海外助成 2件			計	2,800.0

【特定テーマ助成】「『きたマップ』（北海道の環境保全活動データベース）を活用した北海道の自然保護に関する調査・研究および活動」

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	北海道鳥類データベースを活用した鳥類保全への取組み促進事業（1年目）	特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所	長谷川 理	500.0
2	オホーツク海海岸植生のエゾシカによる食害被害状況の把握と保全対策（1年目）	オホーツクの海岸植生を守る会	丸山 立一	480.0
3	夕張岳登山道の重複木道の整理&植生復活事業（1年目）	ユウパリコザクラの会	菊地 宏治	500.0
特定テーマ助成 3件			計	1,480.0

【第29期 特定テーマ助成】「サンゴ礁保全をめぐる地域課題に関する調査・研究およびアウトリーチ活動」（2年目）

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	暮らしの中から考える与論島のサンゴ礁の恵みと漁撈文化	ゆんぬピシバナ研究チーム	高橋 そよ	1,000
2	礁池の脆弱性の機構解明と希少・特異なサンゴ群集の検索による、中琉球の裾礁の特性と地域的価値と保全重点地域の再検討による基盤整備の提案	中琉球の裾礁研究グループ	磯村 尚子	1,000
3	名護市東海岸のサンゴ礁域の持つ価値を地域住民とともに可視化するための多角的な調査	公益財団法人 日本自然保護協会	安部 真理子	1,000
第29期 特定テーマ助成（2年目） 3件			計	3,000

プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 27件			合計	24,040.0
---------------------	--	--	----	----------

Ⅱ. 2019年度（令和元年度）ナショナル・トラスト活動助成先一覧

（単位：千円）

No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	愛宕山（長野県軽井沢町）の土地取得	NPO法人愛宕山てっぺんの森を守る会（軽井沢町）	加藤 正文	3,500.0
2	熊井の森（埼玉県鳩山町）のトラスト活動立上げ	はとやま環境フォーラム	愛場 謙嗣	1,000.0
3	宍塚の里山（茨城県土浦市）の土地保全に向けた調査	NPO法人宍塚の自然と歴史の会	及川 ひろみ	300.0
ナショナル・トラスト活動助成 3件			計	4,800

Ⅲ. 2019年度（令和元年度）緊急助成先一覧

（単位：千円）

No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
	琉球列島における希少カメ類の密漁防止対策としての普及啓発活動	琉球列島における希少カメ類密猟に関するシンポジウム実行委員会	伊澤 雅子	274.0
緊急助成 1件			計	274.0

Ⅳ. 2019年度（令和元年度）第4期協力型助成先一覧

（単位：千円）

(1) 国際NGO助成				
No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
国際NGO助成 0件			計	0
(2) 学協会助成				
No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	最絶滅危惧チョウ類の保全と農林業・地域住民との共存共栄を目指して（2年間の1年目）	日本鱗翅学会	矢後 勝也	934.9
2	地域連携による資源活用と保全の試み・阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト	日本緑化工学会 生態・環境緑化研究部会	中島 敦司	1,000.0
学協会助成 2件			計	1,934.9
(3) 国際的プログラム助成				
No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	白神山地ブナ林の100年モニタリング（2年間の1年目）	世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会	中静 透	563.0
2	西表島世界自然遺産登録に伴うオーバーツーリズムのイリオモテヤマネコ等の自然環境に対するインパクトを、地域住民との協働によってモニタリングする手法・体制の構築	認定特定非営利活動法人 ト ラ・ゾウ保護基金	高山 雄介	1,000.0
国際的プログラム助成 2件			計	1,563.0
協力型助成 合計 4件			合計	3,497.9
助成件数 合計 35件			総額	32,611.9